

平成30年度

社会教育主事講習開催要項

期間：平成30年7月17日(火)～8月9日(木)

実施機関：岩手大学

会場：岩手大学

目 次

1. 目 的	1
2. 実施機関	1
3. 参加県	1
4. 講習期間	1
5. 会 場	1
6. 講習を行う科目名、単位数、内容・テーマ 配当時間数、教育方法及び担当講師予定者職・氏名	1
7. 受講資格及び受講者数	3
8. 受講申込みの方法	3
9. 受講者の決定・通知	3
10. 既修の科目・単位又は学修の取扱いについて	3
11. 受講者の集合(受付)・開講式日時	4
12. 受講に要する経費(受講者負担分)	4
13. 講習についての問い合わせ	4
14. 社会教育主事講習日程表	5
15. 社会教育主事講習受講申込書用紙(別紙1)	
16. 勤務証明書用紙(別紙2)	
17. 経歴証明書用紙(別紙3)	
18. 「社会教育演習」希望調べ用紙(別紙4)	
19. 社会教育主事講習単位修得認定申請書用紙(別紙5)	

1. 目的

本講習は、社会教育法(昭和24年法律第207号)第9条の5の規定並びに社会教育主事講習等規程(昭和26年文部省令第12号。以下「規程」という。)に基づき実施するもので、社会教育主事の職務を遂行するに必要な専門的知識、技能を習得させ、社会教育主事となりうる資格を付与することを目的とする。

2. 実施機関 岩手大学

3. 参加県 岩手県、青森県、秋田県

4. 講習期間 平成30年7月17日(火)～平成30年8月9日(木)

5. 会場 岩手大学復興祈念銀河ホール、一祐会館(理工学部同窓会館)
(盛岡市上田4丁目3-5 TEL:019-621-6852)

6. 講習を行う科目名、単位数、内容・テーマ、配当時間数、教育方法及び担当講師予定者職・氏名

科目名	単位数	内容・テーマ	配当時間数		教育方法	担当講師予定者の職・氏名
生涯学習概論	2	社会教育と生涯学習	30	4	講義	岩手大学准教授 朴 賢淑
		生涯学習と学校教育		4		岩手大学客員教授 新妻 二男
		生涯学習の意義		4		山形大学准教授 安藤 耕己
		学校外教育論		6		弘前大学講師 深作 拓郎
		社会教育施設としての「美術館」		2		岩手大学教授 藁谷 収
		生涯学習関連施策の動向		2		文部科学省生涯学習政策局社会教育課 (調整中)
		生涯学習と社会教育施設		6		秋田大学教授 原 義彦
		社会教育施設の経営		2		岩手県教育委員会 澤柳 健一
社会教育計画	2	社会調査の倫理と方法	30	8	講義	名古屋大学准教授 丸山 和昭
		社会教育における評価		4		山形大学准教授 安藤 耕己
		社会教育事業計画		8		東北大学教授 高橋 満
		地域社会と社会教育		6		弘前大学准教授 松本 大
		社会教育の広報・広聴		2		岩手県教育委員会 澤柳 健一
		生涯学習と社会教育職員		2		岩手大学准教授 朴 賢淑
		社会教育演習*		2		地域スポーツ振興と住民との協働に関する研究
地域づくりと社会教育施設の役割に関する研究	岩手大学客員教授 新妻 二男					
地域住民の学習ニーズの多様化と社会教育の役割に関する研究	岩手大学准教授 朴 賢淑					

社会教育 特 講	3	生涯学習と地域スポーツ	46	4	講義	岩手大学教授	浅沼 道成
		平泉文化と古代中国		2		岩手大学教授	劉 海宇
		震災復興と行政の役割		2		岩手大学教授	五味 壮平
		生涯学習とスポーツにおける運動学習		2		岩手大学准教授	長谷川 弓子
		社会福祉と社会教育		4		岩手県立大学准教授	櫻 幸恵
		国際理解教育と生涯学習		4		岩手大学教授	尾中 夏美
		ジェンダーと社会教育		8		立教大学教授	岩間 暁子
		社会教育と市民社会		2		岩手大学准教授	朴 賢淑
		生涯学習と教育のグローバル化		2		岩手大学准教授	朴 賢淑
		貧困問題と子ども支援		4		特定非営利活動法人インクルいわて 理事長	山屋 理恵
		青少年問題と社会教育		8		滋賀県湖南市教育委員会 スクールソーシャルワーカー	上原 裕介
		生涯学習と教育制度		4		東北大学准教授	後藤 武俊

* 「社会教育演習」の各テーマの主な内容

<地域スポーツ振興と住民との協働に関する研究>

この研究では、地域住民によるスポーツ実践と社会教育に関する各種事例を分析することによって、今日の地域スポーツ関連政策についての検討および地域住民の学びの場としての機能について検討する。

<地域づくりと社会教育施設の役割に関する研究>

地域の課題解決支援は、現在の社会教育に求められている最も重要な事項となっている。この研究では、社会教育施設（公民館、博物館、美術館など）における地域の課題解決支援の事例を分析するとともに、地域活性化のための専門的職員である社会教育主事の役割と社会教育施設の活性化のための地域住民のエンパワーメントの視点から検討する。

<地域住民の学習ニーズの多様化と社会教育の役割に関する研究>

地域の課題の多様化（少子・高齢化）、地域の国際化などといった社会変化とともに地域住民の学習ニーズも多様化が進んでいる。この研究では、社会変化に伴う社会教育（生涯学習・生涯教育）の在り方について実践事例をとおして検討する。また、学校と地域の連携・協働を図る際の成人学習者の視点から検討する。

「社会教育演習」希望調べ（別紙 4）をもとにいずれかのテーマのグループに分かれ（調整あり）、研究を進めていただきます。

7. 受講資格及び受講者数

社会教育主事講習等規程第2条に該当する者 約50名

【社会教育主事講習等規程第2条】

第2条 講習を受けることができる者は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- 一 大学に2年以上在学して62単位以上を修得した者、高等専門学校を卒業した者又は社会教育法の一部を改正する法律(昭和26年法律第17号。以下「改正法」という。)附則第2項の規定に該当する者
- 二 教育職員の普通免許状を有する者
- 三 2年以上法律第9条の4第1号イ及びロに規定する職にあった者又は同号ハに規定する業務に従事した者
- 四 4年以上第9条の4第2号に規定する職にあった者
- 五 その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めたる者

8. 受講申込みの方法

受講希望者は、次の書類を勤務先又は居住地の県教育委員会社会教育主管課へ6月18日(月)までに必着するよう提出すること。

(1) 受講申込書(別紙1)

(2) 受講資格を証明する関係書類「下記のいずれか1種類の証明書」

- ① 大学、短期大学、高等専門学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)証書(写)
- ② 教育職員免許状(写)又は教育職員免許状授与証明書
- ③ 2年以上地方公共団体で社会教育に従事した職員又は委員に在任したことを証明する勤務証明書(別紙2)
- ④ 4年以上幼稚園、学校の教員又は保育所の保育士として在任したことを証明する勤務証明書(別紙2)
- ⑤ 2年以上社会教育関係団体の会長又は副会長等に在任したことを証明する教育委員会の証明書(別紙3)

ただし、かつて社会教育関係団体の会長又は副会長を務めた経験があり、現在公民館主事の職にある等の場合で、両者の年数を合算して受講資格とする者は③と⑤が必要

(3) 「社会教育演習」希望調べ(別紙4)

(4) 返信用封筒(受講許可書、実施要項等送付用)1通

角2封筒(33cm×22cm)に住所、氏名を記入し、郵便切手485円を貼付のこと。

9. 受講者の決定・通知

1) 受講者の決定は、社会教育主事講習運営委員会で協議の上、岩手大学長が行う。

2) 受講許可者には、受講許可書を6月末日を目途に発送するとともに、各県の教育委員会に許可者名を通知する。

10. 既修の科目・単位又は学修の取扱いについて

規程第7条第2項の規定に該当する科目は、「生涯学習概論又はこれに相当する科目(2単位)及び「社会教育計画(2単位)」の2科目とする。平成9年度以降に大学を卒業した者に限り、本人の申請に基づき、運営委員会で審査の上、単位取得を認める。これらの科目の単位を取得した者又は規程第7条第3項に規定する学修をした者の本講習の受講方法については、事前に主任講師から本人に連絡する。

なお、認定を希望する者は、単位修得認定申請書(別紙5)に、規程第7条第2項に該当する場合にあっては講習等名、受講科目、単位数及び受講機関等の内容を記載した証明書1通を添付して、受講申込書と同時に提出のこと。

【社会教育主事講習等規程第7条】

第7条 単位修得の認定は、講習を行う大学その他の教育機関が試験、論文、報告書その他による成績審査に合格した受講者に対して行う。

2 講習を行う大学その他の教育機関は、受講者がすでに大学において第3条の規定により受講者が修得すべき科目に相当する科目の単位を修得している場合には、その単位修得をもって同条の規定により受講者が修得すべき科目の単位を修得したものと認定することができる。

3 講習を行う大学その他の教育機関は、受講者が、文部科学大臣が別に定める学修で、第3条に規定する科目の履修に相当するものを行っている場合には、当該学修を当該科目の履修とみなし、当該科目の単位の認定をすることができる。

11. 受講者の集合（受付）・開講式日時

- 1) 開講式：平成30年7月17日（火）13時00分～
（開講式終了後に記念撮影、オリエンテーションを行う。）
- 2) 集合場所：岩手大学復興祈念銀河ホール（盛岡市上田4丁目3-5）
- 3) 受付日時：平成30年7月17日（火）12時00分～12時50分

12. 受講に要する経費（受講者負担分）

受講者は、集合日（7月17日）に受付で受講に要する経費（講習研究報告書刊行費・教材費・その他雑費等）として、15,000円を納付のこと。

なお、受講に伴う旅費、宿泊費、テキスト代、参考図書代等は、受講者の負担とする。また、講習中の宿泊先は各自で確保すること。

13. 講習についての問い合わせ

本講習に関する問い合わせは、次の各県の教育委員会（教育庁）、又は実施機関の担当者へ照会してください。

岩手県	岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課 主任社会教育主事 澤柳 健一 〒020-8570 盛岡市内丸10-1 TEL: 019-629-6176 FAX: 019-629-6179 メールアドレス: sawayanagi@pref.iwate.jp
青森県	青森県教育庁 生涯学習課 企画振興グループ 主査 中嶋 香菜 〒030-8540 青森市新町2-3-1 TEL: 017-734-9889 FAX: 017-734-8272 メールアドレス: kana_nakajima@pref.aomori.lg.jp
秋田県	秋田県教育庁 生涯学習課 社会教育・読書推進班 社会教育主事 森川 勝栄 〒010-8580 秋田市山王3-1-1 TEL: 018-860-5184 FAX: 018-860-5816 メールアドレス: morikawa-katsuei@pref.akita.lg.jp
実施機関 岩手大学	岩手大学 社会教育主事講習運営委員会事務局 幹事 地域連携・COC推進課主事 中里 剛士 〒020-8551 盛岡市上田4丁目3-5 TEL: 019-621-6852 FAX: 019-621-6493 メールアドレス: renkei@iwate-u.ac.jp

平成30年度 社会教育主事講習日程表

【期間：平成30年7月17日（火）～8月9日（木） 場所：岩手大学復興祈念銀河ホール（7月17日）、岩手大学一祐会館（7月18日～8月9日）】

期 日	8:50～10:20	10:30～12:00	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50
7月17日 （火）		12:00～ 受付	13:00～13:30 開講式 13:30～14:30 リンクセッション	社会教育と生涯学習 朴 賢淑（生涯学習概論）	
7月18日 （水）	社会調査の倫理と方法 丸山 和昭（社会教育計画）			社会教育演習① 朴 賢淑 他	
7月19日 （木）	生涯学習と学校教育 新妻 二男（生涯学習概論）		生涯学習の意義 安藤 耕己（生涯学習概論）	社会教育演習② 朴 賢淑 他	
7月20日 （金）	社会教育における評価 安藤 耕己（社会教育計画）		社会教育演習③④⑤ 朴 賢淑 他		
7月23日 （月）	生涯学習と地域スポーツ 浅沼 道成（社会教育特講）		平泉文化と古代中国 劉 海宇（社会教育特講）	社会教育事業計画 高橋 満（社会教育計画）	
7月24日 （火）	社会教育事業計画 高橋 満（社会教育計画）		社会教育演習⑥⑦⑧ 朴 賢淑 他		
7月25日 （水）	震災復興と行政の役割 五味 壮平（社会教育特講）	社会教育演習⑨ 朴 賢淑 他	学校外教育論 深作 拓郎（生涯学習概論）		
7月26日 （木）	生涯学習とスポーツにおける運動学習 長谷川 弓子（社会教育特講）	社会教育施設としての「美術館」 藁谷 収（生涯学習概論）	地域社会と社会教育 松本 大（社会教育計画）		
7月27日 （金）	社会福祉と社会教育 櫻 幸恵（社会教育特講）		生涯学習関連施策の動向 文部科学省（生涯学習概論）	社会教育演習⑩⑪ 朴 賢淑 他	
7月30日 （月）	国際理解教育と生涯学習 尾中 夏美（社会教育特講）		ジェンダーと社会教育 岩間 暁子（社会教育特講）	社会教育演習⑫ 朴 賢淑 他	
7月31日 （火）	ジェンダーと社会教育 岩間 暁子（社会教育特講）		生涯学習と社会教育施設 原 義彦（生涯学習概論）		
8月1日 （水）	社会教育と市民社会 朴 賢淑（社会教育特講）	生涯学習と教育のグローバル化 朴 賢淑（社会教育特講）	社会教育の広報・広聴 岩手県教育委員会（社会教育計画）	社会教育施設の経営 岩手県教育委員会（生涯学習概論）	社会教育演習⑬ 朴 賢淑 他
8月2日 （木）	貧困問題と子ども支援 山屋 理恵（社会教育特講）		社会教育演習⑭⑮⑯ 朴 賢淑 他		
8月3日 （金）	青少年問題と社会教育 上原 裕介（社会教育特講）				
8月6日 （月）	生涯学習と社会教育職員 朴 賢淑（社会教育計画）	社会教育演習⑰ 朴 賢淑 他	生涯学習と教育制度 後藤 武俊（社会教育特講）	社会教育演習⑱ 朴 賢淑 他	
8月7日 （火）	社会教育演習⑲⑳㉑㉒㉓ 朴 賢淑 他				
8月8日 （水）	社会教育演習㉔㉕㉖㉗㉘ 朴 賢淑 他				
8月9日 （木）	社会教育演習㉙㉚ 朴 賢淑 他		13:00～ 閉講式		

(別紙1)

社会教育主事講習受講申込書

平成 年 月 日

岩手大学長 殿

氏名：

平成30年度社会教育主事講習を受講したいので、受講資格を証明する関係書類を添えて下記により申し込みます。

記

フリガナ 氏名		生年月日	昭和 年 月 日 平成	年齢	歳
現住所	〒 - 連絡先 (Tel:) / 緊急連絡先 (Tel:) (E-mail:)				
勤務先 職名		所在地	〒 - Tel: - - FAX: - - (E-mail:)		
受講希望科目 ※受講希望欄に ○印をすること	科目	単位	受講希望		
	生涯学習概論	2			
	社会教育計画	2			
	社会教育演習	2			
	社会教育特講	3			
単位修得の認定を受けた科目及び単位	-----		単位修得の認定を希望する科目及び単位	-----	
受講資格	社会教育主事講習等規程第2条の 号に該当				
最終学歴					
職歴 (資格関係分)	自 年 月 ~ 至 年 月 (年 九月)				
	自 年 月 ~ 至 年 月 (年 九月)				
	自 年 月 ~ 至 年 月 (年 九月)				
	自 年 月 ~ 至 年 月 (年 九月)				
	自 年 月 ~ 至 年 月 (年 九月)				

(別紙2)

勤 務 証 明 書

氏 名 :

生年月日 : 昭和 年 月 日
平成

上記の者は本 記 に下記のとおり勤務していたことを証明する。

記

期 間	職 名	職 務 内 容
自 年 月 日 至 年 月 日 (年 力月)		
自 年 月 日 至 年 月 日 (年 力月)		
自 年 月 日 至 年 月 日 (年 力月)		

平成 年 月 日

所属長氏名



注 意

1. 職名の欄には、発令されたとおりの職名を記入すること。
2. 職務内容の欄には、従事した職務の内容を具体的に記入すること。
3. この証明書は、規程第2条の第3号、第4号または第5号該当者のみ添付すること。

(別紙3)

経 歴 証 明 書

住 所 :

氏 名 :

上記の者は、社会教育団体の役員として、下記のとおり在任していたことを証明する。

記

期 間		職 名	職 務 内 容
自	年 月 日		
至	年 月 日 (年 力月)		
自	年 月 日		
至	年 月 日 (年 力月)		
自	年 月 日		
至	年 月 日 (年 力月)		

平成 年 月 日

所属長氏名

印

注意

1. 職名の欄には、発令されたとおりの職名を記入すること。
2. 職務内容の欄には、従事した職務の内容を具体的に記入すること。
3. この証明書は、規程第2条の第3号、第4号または第5号該当者のみ添付すること。

(別紙4)

「社会教育演習」希望調べ

氏 名	勤 務 先

社会教育演習は、次の3つのテーマに分けて行います。あなたが希望する演習テーマを第1希望から第3希望まで選択し、各テーマの□欄に1, 2, 3と希望順位を記入し、社会教育主事講習申込書と一緒にこの希望調べを提出してください。

社会教育演習グループ編成は、受講者の希望を考慮の上、人数等を勘案して決定します。

記

1. 地域スポーツ振興と住民との協働に関する研究

担当講師：岩手大学人文社会科学部教授

浅 沼 道 成

2. 地域づくりと社会教育施設の役割に関する研究

担当講師：岩手大学三陸復興・地域創生推進機構客員教授

新 妻 二 男

3. 地域住民の学習ニーズの多様化と社会教育の役割に関する研究

担当講師：岩手大学三陸復興・地域創生推進機構准教授

朴 賢 淑

(別紙5)

社会教育主事講習単位修得認定申請書

下記の表第4欄に掲げる事由を証する書類を添えて次のとおり申請いたします。

平成 年 月 日

岩 手 大 学 長 殿

氏 名



1 氏 名		生年月日	昭和 平成	年	月	日
2 住 所	〒					
3 認定を希望する 科目及び単位数						
4 申請事由及 び適用条件						
5 備 考						

平成 30 年度 岩手大学社会教育主事講習 会場案内図

■岩手県交通バスをご利用の場合

①松園バスターミナル行き

バス乗り場：盛岡駅前東口バスターミナル 11 番

下車バス停（所要時間）：上田四丁目（約 10 分）

②桜台団地行き

バス乗り場：盛岡駅前東口バスターミナル 11 番

下車バス停（所要時間）：理工学部東口（約 10 分）

※理工学部キャンパスは、岩手大学上田キャンパスの敷地内の中で、道路（国道 46 号線）を挟んで北側になります。

■私用車をご利用の場合

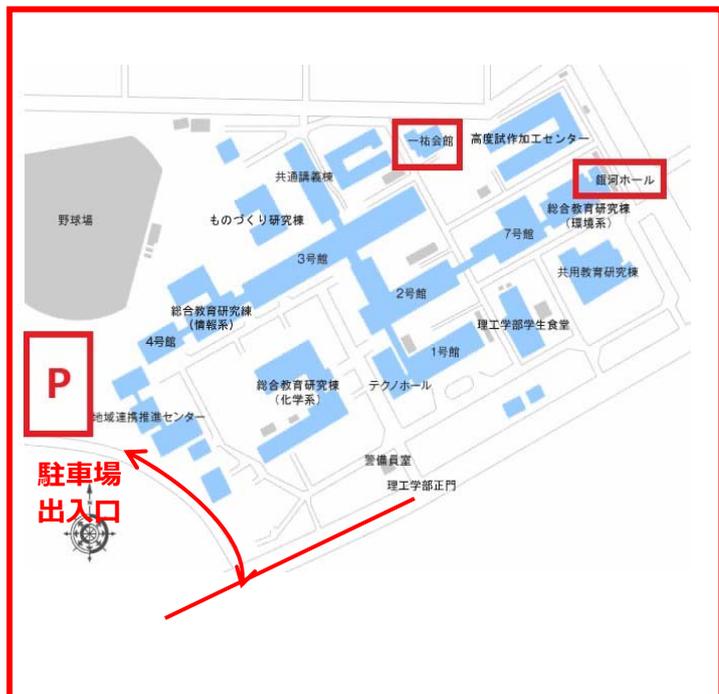
〒020-8551 岩手県盛岡市上田四丁目 3 番 5 号

私用車をご利用の場合は、地域連携推進センター前の駐車場をご利用ください。（右図参考）

なお、駐車場から退出する際に必要な駐車カードは、オリエンテーション後に配布致します。

※**駐車場には理工学部正門から進入できません。**
キャンパス西側にあります地域連携推進センター前の門より進入してください。

〔理工学部キャンパス拡大図〕



〔盛岡市内マップ〕

